

消えた子ども社会の再生を

国分アンビシャス広場12年の軌跡

藤田弘毅

子どもは 子どもの中で育つ

子ども社会 — そこは、大人が何もしなくても、ガキ大将を中心に様々な年齢の子どもが一緒になって遊び、生き抜く力をつける場所。その再生を目指し、失敗と試行錯誤を繰り返しながらも、挑戦しつづけた、アンビシャス広場12年の記録。

藤田弘毅 / 1943年、福岡県生まれ。大学卒業後、福岡県庁入庁。2001年、生活労働部長を最後に退職。その後、ももちパレス館長、久留米リサーチパーク代表取締役を歴任。現在、県庁在職時から続けている国分アンビシャス広場での子ども社会再生に取り組みながら、2003年に設立した福岡県和ごま競技普及協会の会長を務める。



A 5 版 / ソフトカバー / 200ページ / 定価1575円 (本体1500円+税)

出版によせて

福岡教育大学名誉教授 横山正幸

冬、ある土曜日の午後、久しぶりに国分アンビシャス広場を訪ねてみた。子ども達の歓声が聞こえる。……かつて「子どもは風の子」と言われたものだが、まさにそれを彷彿とさせる光景であった。そこには、今ではほとんど見ることのできない生き生きとした子どもの社会があった。

地域の子どもの社会のなかで繰り広げられる仲間との豊かな遊び体験は、子どもの育ちに欠くことのできない大切な「栄養素」である。しかし、そうした子ども社会は、この40年くらいの間に見事に消えてしまった。

本書は、その消えた子ども社会の再生を目指し、12年間にわたって地域の「おっちゃん」として子ども達と直接関わり、取り組んできた藤田弘毅氏の実践と、そこから見えてきた知見をまとめたものである。

遊びを通して子ども達が健やかに育つことを願い、現在地域で取り組んでいる人々、またこれから取り組もうとしている人々にとって、子ども達とどう関わり、子ども社会をどのようにして再生するのか、その具体的な方法を示してくれるまさに必読の書である。
(抜粋)

消えた子ども社会の再生を * 国分アンビシャス広場12年の軌跡

A 5 判、200ページ、ソフトカバー / 定価1575円(税込) / 2013年4月発売 / 発売：海鳥社

下記ご記入のうえ海鳥社へお送りください。本が出来上がり次第、郵便振込用紙を同封してお送りいたします。送料不要。

ご注文冊数 _____

お名前 _____

お電話番号 _____

ご住所 _____